

社会インフラ設備の台帳整備・劣化診断サービス “Audin AI” の提供開始について ～ 巡視／巡回による目視点検の省力化に向けて～

株式会社 NTT フィールドテクノ（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：桂一詞、以下 NTT フィールドテクノ）は、株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク（本社：東京都港区、代表取締役：柴田巧、以下 JIW）と連携し、主に自治体におけるインフラ維持・管理の DX（デジタル・トランスフォーメーション）化に向け、社会インフラ設備の画像データを用いて AI による台帳整備・劣化診断を行うクラウドサービス “Audin AI^{※1}”（オーディン エーアイ）を、2023年8月28日（月）から提供開始いたします。

※1: 商標登録出願中

1. 背景

高度成長期に集中的に整備された社会インフラ設備は、今後 20 年で建設後 50 年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなり、適時適切な修繕による予防保全型管理の必要性が高まる中、広範囲な社会インフラの点検、診断に必要な労働力の減少やコストが大きな課題となっています。

このような状況を受け、NTT フィールドテクノは自社が持つオンサイトリソースと JIW が持つ劣化診断技術を組み合わせ、社会インフラ設備の台帳整備と AI により点検精度を均質化して設備の劣化診断を行うプラットフォームを構築しました。

2. サービス提供内容

NTT フィールドテクノが保有している社会インフラ設備の画像データと JIW の劣化診断 AI を組み合わせることで、社会インフラ設備に関わる設備台帳のデジタルデータ化、並びに劣化診断結果（道路構造物の錆、路面塗装の剥離、路面のひび）についてポータルサイト上でレポートをご提供いたします。

（1）社会インフラ設備画像データからの台帳整備・劣化診断

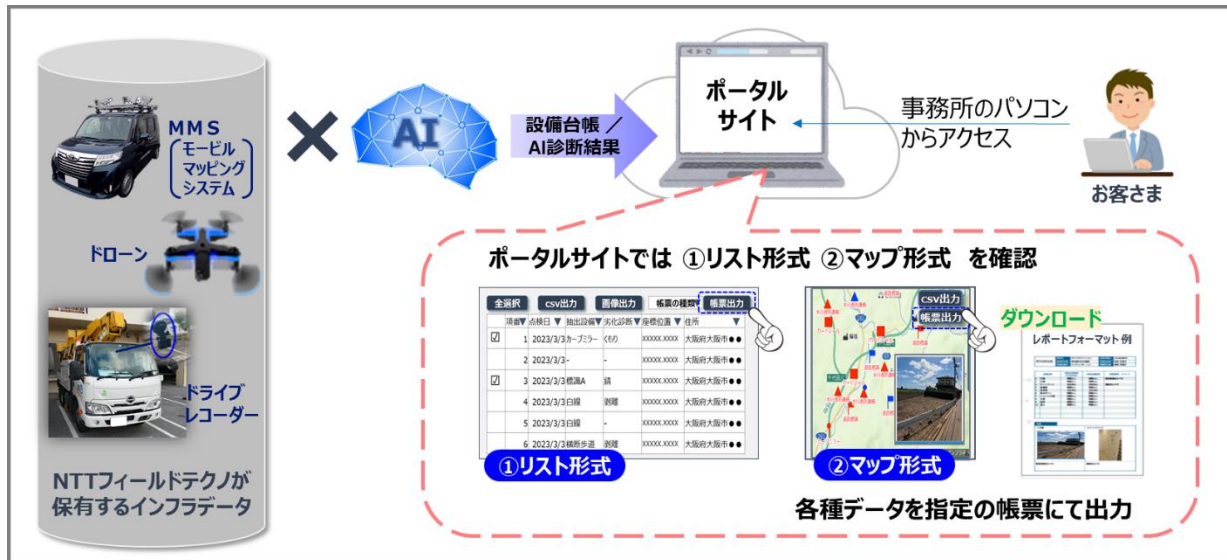
専用のポータルサイトにて、社会インフラ設備リストや地図上での台帳閲覧や劣化状況の閲覧が可能です。

これにより、お客さまによる現地確認が省力化されるとともに、劣化診断における点検精度の均質化による再チェックの最小化を実現します。

（2）お客さま要望にあわせたレポート

お客さまの指定される様式でのレポートが可能です。

【提供イメージ】



【提供項目】

項番	設備種別	対象設備		設備台帳の作成	設備の劣化診断
		1-1	1-2		
1	道路構造物	道路標識		○	錆
		カーブミラー		○	
		ガードレール		○	
2	路面塗装	道路標示(記号,文字)		○	剥離
		横断歩道		○	
		白線(中央,側道)		○	
3	路面			-	ひび,ポットホール

3. 提供価格

区分	
基本メニュー	基本利用料 ^{※2}
	サービス利用料 ^{※3}
契約事務手数料	

料金算出方法
行政区画により設定
道路距離・更新頻度を基に算出
契約金額より算出

※2 基本メニューは以下が含まれております。

① 設備種別の識別及び劣化診断 1 種類 ② ポータルサイトでの閲覧 ③ 帳票 1 種類の出力

※3 識別、及び劣化診断をする設備種別の追加や、データ保有期間の延長についてはオプションでお受けいたします。

A 町さままでの概算見積例

ご要望：町内の道路上にある道路構造物（道路標識・カーブミラー）の台帳整備
ポータルサイトの更新は年 2 回

提供価格：約 200万円 / 年

詳細は、下記（7. お問い合わせ先）までお問い合わせください。

4. 提供エリア

西日本エリア（富山県、岐阜県、静岡県 以西）

5. 提供開始日

2023年8月28日（月）

6. 今後の展開

本サービスにより地域の社会インフラ設備点検の省力化に貢献するとともに、今後も AI の拡充による設備種別の追加や蓄積したデータの活用拡大などにより社会インフラ設備の維持管理、修繕に関わる自治体の更なる DX 化の支援をしてまいります。

また、本サービスを広く展開することで、地域の自治体の皆さまと協働し、安心安全な地域社会の実現に貢献してまいります。

7. 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 NTT フィールドテクノ

ビジネス推進部 ビジネス推進部門 ビジネスコーディネーター担当

Mail: audin_ai_info@west.ntt.co.jp

※お問い合わせの際は、メールアドレスをお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。